



Climate Youth Japan (CYJ) 声明

「地球温暖化防止のため、COP18 でのさらなる交渉の進展を」

私たちは京都議定書が誕生した国の若者として、日本は気候変動問題に対する国際協力の更なる深化を成し遂げることのできる重要なアクターであると信じている。また、わたしたち若者は草の根レベルからハイレベルの政治プラットフォームにおいて、気候変動に取り組む責任ある地球市民であり、重要なステークホルダーであると考えている。

私たちは、日本政府に求める

気候変動は現代だけではなく未来世代にまで関わる、世代間にまたがる問題であり、かつ種々の社会問題と関連し気候変動だけで解決する問題ではないと認識している。今後は政府と若者など多様なステークホルダー間との対話や協働による、相互の社会的責任を達成することが重要視される。我々若者との対話によって、日本政府と日本の若者とのより深い関係構築・信頼構築を促進し、将来世代の声を政府が国際交渉に反映するよう強く求める。

そこで私たちは以下のような提案を行う。

●政府、とくに気候変動交渉官・政策担当と国民との対話の場の設定

- －日本政府の意思決定プロセスと若者の活動の双方に参加
- －グローバルリーダーシップを発揮して気候変動に取り組む若者の育成・啓発
- －国民への気候変動の国際交渉の状況共有・情報開示による、適切な支援や技術移転の促進

私たちは、行動する。

- COP18 において、また COP18 終了後も継続して、各国政府に訴える活動を将来世代の代弁者として国内外の若者と協働して行い、各国政府や各国の人々に若者の主張を認識させる。
- 国際交渉とこれに参加する日本政府の動向を注意深く監視し、必要に応じて声を上げる。
- 選挙の際には、気候変動政策を投票の判断材料にし、自分たちの意見を投票によって各アクターに認識させる。
- 自分の存在や行動の可能性を信じ、自らが変化を起こす主体となるよう努める。

私たちが考える「衡平で持続可能な社会」とは、

1) 全ての人々が、生まれた時代や地域などの条件に関係なく、個々が生まれながらにして持っている可能性や能力を発揮することができ、2) 私たちの社会が存在する世界において、最大限の努力の及ぶ範囲で「地球」という環境を損失することなく、そのあり方を次世代へと引き継いでいくことによって現代から将来世代の全ての人々が幸福を享受できる社会。

■ 団体概要

Climate Youth Japan (CYJ) <http://climateyouthjapan.jimdo.com/>

2010 年春、気候変動問題に高い関心を持って活動しているユースによって設立された団体。

1. 国内外で気候変動問題に対して活動している国内外の若者、NGO、政府、企業などとネットワークを構築し、協働する。
2. 日本の若者の気候変動問題およびそれに関連する政策に対する関心を高める。
3. 気候変動問題およびそれに関連する日本の若者の考え、意見を国内外に発信する。
4. 気候変動に関する国際交渉へ日本の若者を派遣することを通じて、気候リーダーを育成する。

以上 4 点をミッションとし、CYJ は社会の中で若者が声を上げることにより、気候変動問題の解決を通じた衡平で持続可能な社会の実現を目指します。